

港区立青山中学校  
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年は、領域の「話す・聞く」だけが目標値を下回っている。「聞き取る」が3ポイントほど下回り、「話し合う」は2ポイントほど上回るだけなので、ここが課題である。また、「漢字を書く」も1ポイントほど高いだけなので、やや弱い。</li> <li>・2学年は、「漢字を書く」が7ポイントほど低い。「文法」は9ポイントほど低い。この辺が課題である。読み取りや作文に関しては、大きく目標値を上回っている。</li> <li>・3学年は領域の「詠むこと」の項目以外は、区の平均正答率を僅かに下回っている。「意欲・関心・態度」は高いのでタブレット等を駆使しながら、力をつけていく工夫をしていく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年は「我が国の農業や水産業」「我が国の工業生産」の領域が6～9ポイントほど目標値を下回っている。資料を正しく読み取り、発問に即した回答ができていないことが課題である。</li> <li>・第2学年は、どの領域においても目標値を達成しており4～22ポイント上回っている。「世界の諸地域」の産業について資料を読み取る問題が、やや正答率が低い。</li> <li>・第3学年は、どの領域においても目標値を達成しており3～10ポイント上回っている。「日本の諸地域」の産業について資料を読み取り、判断する問題が、やや正答率が低い。</li> <li>・全学年を通して産業に関する資料の活用・読み取りが課題である。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年は小学校の学習で、平面図形では区の平均正答率を上回っているが小数・分数の計算、比と比例・反比例、平均・場合の数、資料の活用について課題がある。</li> <li>・第2学年はすべての領域、項目で区の平均正答率を上回っている。</li> <li>・第3学年は平面図形で区の平均正答率を上回っているが、計算の復習はやや区の平均正答率を上回っているが、連立方程式、1次関数、証明について課題がある。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年は、区および全国の平均点を下回っている。特に「動物のつくりとはたらき」、「生物と環境」の理解に課題がある。</li> <li>・第2学年は区および全国の平均点を上回っている。全体的に理解できているが、「水溶液の性質」、「光の性質」については今後も定着を図っていく。</li> <li>・第3学年は区および全国の平均点を上回っている。全般的に理解できているが、「電流の性質」、「前線の通過と天気の変化」については今後も定着を図っていく。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年は、単語を書くことにおいて話す・聞くよりも苦手意識を持っている生徒が多い。</li> <li>・第2学年は概ね平均を超える得点力であったが、場面に応じた英作文の得点力が低かった。学んだ事柄がどのような場面で使えるかを意識した実践的な場面をイメージできるよう ICT 機器をさらに活用する。</li> <li>・第3学年 知識・技能において動名詞・過去進行形が目標値を下回っている。身の回りのことについての英作文では会話で使うが、あまり書かない文法事項が定着していない。</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>話の展開に注意しながら内容を聞き取り、互いの考えを比較したり、評価したりする。学年別漢字配当表に示された漢字を書ける。単語の類別について理解し、文の構成について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りのテストを行う。その際、必要な単語を聞き取るだけでなく、聞き取った内容を要約するなど取り入れる。</li> <li>・スピーチの活動を行う。その際、スピーチの内容に関するクイズを出題したり、内容について質問したりさせ、相互の交流にする。</li> <li>・毎時間漢字のテストを行い、適宜まとめのテストをする。</li> <li>・スクールタクトを用い、自分で考えながら、単語の性質等理解させる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	我が国の国土と歴史、現代社会や経済、国際社会に関して理解する。社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察し課題の解決に向けて思考判断できる力。よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会で起こっている事象において、日常の身近な出来事に結びつけて授業を展開する。</li> <li>・小テストを実施し、知識の定着を図る。</li> <li>・理解していること、できることを応用させ論述やレポートにまとめる作業や、話し合い活動を行う。</li> <li>・資料やデータから、何が起きているのか、何が課題であるのか考え、まとめさせる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	数学的な基礎的な概念や原理・法則の理解とともに数学的に表現・処理する技能を身につけ、数学的な思考力・判断力・表現力を養い、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて数学を生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度に応じて教材や授業形態を使い分け、標準は基本の徹底を、発展はより思考の充実を図る。</li> <li>・反復演習の徹底。</li> <li>・振り返りテストの実施。</li> <li>・課題について考え、生徒同士で学び合う時間を單元ごとに設ける。</li> <li>・表現力をつけるために教え合ったり、学び合ったりしたことをまとめる時間を單元ごとに作る。</li> <li>・デジタル教科書やタブレットを活用し、PDCA サイクルの定着を推進する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テストを実施し、知識・技能の定着を図る。</li> <li>・タブレットの活用し、科学的事象を可視化およびモデル化、意見交換・発表等を積極的に行うことで、思考・判断・表現力を向上させる。</li> <li>・身近な自然事象を取り上げ、科学的に考えさせることで、主体的に取り組む態度を身につけさせる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	曲想と構造などとの関わり及び多様性について理解し、表現を工夫するための技能を身につける。表現を創意工夫し、良さを味わって聴く。主体的・協働的に取り組み、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を豊かにしていく態度を養う。	興味関心をもち、創意工夫を生かしながら技能の向上を目指すため、内容理解を深める学習活動を行う。音楽に対する評価や創意工夫について、知覚・感受、言語化し、明確にする。その際、自己の意見をもち他者の意見を聴く活動を取り入れることで、自分なりに捉え、他者と共有し創意工夫する力を高める。他者とともに音楽表現を作っていくことを通して、イメージを伝え合ったり協同する喜びを感じたりする体験活動をさせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	<p>多様な表現や技術があることを理解し、自分の考えを表現に変えるための手立てを増やす。</p> <p>友人や作家の作品を鑑賞する能力を身につけ、自分以外の表現を尊重する力をつける。</p>	<p>アイデアから作品制作に至る過程に小さなワーク(目標)を設定し、一つ一つの課題をクリアしていくことで達成感や自信を持たせる。</p> <p>友人の作品のいいところや工夫している点を知るための鑑賞の機会を増やしていく。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	<p>運動、体力の必要性について理解し、基本的な技能を身に付ける。また、自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養い、最善を尽くして運動をする態度を養う。</p>	<p>・掲示資料や学習カードのポイントを明確にしたものを活用し、技能のポイントを理解しながら実技につなげられるようにする。</p> <p>・グループ活動を積極的に取り入れ、自己や仲間の課題を発見させる。また、考えたことを伝えやすいようにペア学習、トリオ学習など、グループの人数を工夫する。</p> <p>・グループ活動では、リーダーだけでなく一人一人の役割を明確にし、やり遂げられるよう促していく。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	<p>生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し表現するなど、課題を解決する力を養う。</p>	<p>・生活や社会の中から技術や家庭に関わる問題を見いだして課題を設定する。</p> <p>・課題を解決するために解決策を構想する。</p> <p>・構想した自分の考えを、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化する。</p> <p>・実践したことをクラスメイトに聞き、他者の考えを聞くことで評価・改善につなげる。</p> <p>・実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語(英語・国際)	<p>外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動の中で、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりするための語形・語法・語彙の知識・理解を伸ばす。</p>	<p>・ICT 機器を使い、語形・語法・語彙が実際に使われている場面からの導入をさらに促進する。</p> <p>・副教材(ワーク)などを授業の中で必ず活動に取り入れ、周りとの関りを持ちながら、学習を進めていくことで生徒自身が自分の理解度を図れるようにする。</p> <p>・苦手意識のある生徒には学びポケットを使った学習補助を指導する。また、小テストの実施回数を増やし、何度も繰り返す体制を作る。</p>

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が問題意識をもち、主体的に考えられるように、ねらいや生徒の実態に応じて、教材を工夫する。</li> <li>・話し合い活動を取り入れ、仲間の考えを聞く場面をつくる。また、話し合い活動の前には、自分の考えと向き合う時間をつくる。</li> <li>・ICT を活用し動画を見せたり、仲間の意見を互いに共有したりできるようにする。</li> <li>・振り返りの時間では、今後活かしていきたいことを考える時間をつくる。</li> </ul>

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付ける。集団生活や社会における生活及び人間関係をよりよく形成し、自己実現を図ろうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動では、班や係、当番活動の中で自己の役割を明確にし、リーダーだけでなく一人一人が責任をもち取り組む。</li> <li>・生徒会活動では、生徒会の一員という意識をもたせ、中央委員会で話し合ったことなどを朝礼や学級で伝わるようにする。</li> <li>・学校行事では生徒主体に運営ができるよう実行委員を中心に計画を立てていく</li> </ul>

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよく問題を解決するための知識・技能を身に付け探究学習の良さを理解する。</li> <li>・実生活の中から問いを見いだし課題設定する力。情報を集め整理・分析しまとめ、表現する力</li> <li>・探求的な学習に主体的、協動的に取り組む互いの良さを生かしながら社会に参画しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題設定」→「情報収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」というプロセスを基本とする。</li> <li>・実際に学習活動や扱う学習対象と発揮される資質・能力を具体的に想定して、「探究学習」の材料を集めるようにする。</li> <li>・第 1 学年はスキー教室を通して事前事後の調べ学習を行う。職業講話を通して進路学習を行う。第 2 学年は職場体験の事前事後学習、キャリア教育を行う。第 3 学年は修学旅行を通して事前事後学習を行い進路学習・キャリア教育・ボランティア活動を行う。</li> </ul>